

Uターンで見つけた ガラス工芸の道



小樽市在住 木村 直樹 さん

◎職業／ガラス工芸家
◎世帯構成／本人、妻
◎前居住地／石川県

北見市の高校を卒業後、道外に就職するも半年でホームシックになり、北海道へのUターンを考えました。

留辺蘂という道東の田舎で育った私には、札幌への憧れもあり、せっかく北海道に帰るならさっぽろ圏だろうという思いがありました。そこでインターネットで仕事探しを始めましたが、心惹かれる仕事を見つけれませんでした。そんな時、札幌の近隣に目を向けてみたところ、1番最初に訪ねたのが、小樽市のホームページで、それがガラス工芸を知



るきっかけでした。その後19歳で修行の道に入り、26歳で独立、KIM GLASS DESIGNをスタートさせました。

さっぽろ圏の魅力はやはり、大都市札幌があり、たくさんの仕事のチャンスがありながら、そこから1〜2時間前後で、最高の自然が味わえるバランスの良さだと思えます。この経済と自然の融合は、私のような作り手にとって間違いないアドバンテージです。

春夏秋冬と釣りを楽しみ、冬はスキーリゾートを楽しむ。そしてガラス作品に落とし込む。今の私にとっては、最高の環境になりました。



KIM GLASS DESIGN 外観

やりたい事ができる 幸せを感じる環境



石狩市在住 角野 飛鳥 さん

◎職業／養鶏家・養蜂家
◎世帯構成／夫、本人、子3人
◎前居住地／徳島県(夫)、旭川市(本人)



私たちは石狩市厚田区にある望来という海の街で2017年に養鶏と養蜂で新規就農しました。

夫は酪農学園大学に来るために北海道へ、卒業後小さい頃からの夢である「養鶏家になるため石狩の農家さんで研修をしていました。そこへ農業に興味をもち、道内のいろんな農家さんでお手伝いをしていて私が行ったのが出会いでした。後に私はその農家さんに花粉交配で蜂箱を置いていた養蜂家さんに出会い、話を聞き、すっかり蜂の虜になりその方のもとで2年間養蜂を学びました。農業研修が終わりに結婚しましたが就農資金はなく、酪農ヘルパーを3年行い、資金が貯まった2017年の春に石狩の望来で新規就農となりました。

今卵はちみつその他にシフォンケーキやプリンなどの加工品で生計を立てています。鶏、蜂の他に農場には忙しい私たちに変わって草を除草してくれるヤギ、裏山を開墾してくれる豚、鶏たちを守る犬、ネズミ対策で猫、とたくさんの動物たちと協力しながら楽しくやっています。採れたての卵やはちみつを食べたり、子どもと一緒に野菜を育てたり、鶏を絞めて食べたり、日本海に沈む夕日を眺めたり、ここできしか出来ない生活に幸せを感じる毎日です。買い物や病院へ行くのが不便だったりしますが、田舎ならではのご近所さんによる温かいサポートがあり、何より子どもを育てるにも私たちがやりたい事をするにも最高の環境で、望来に移住し暮らし始めて良かったと思っています。



さっぽろ圏で新しい暮らし、 はじめました。

さっぽろ圏に移住した皆さんに、実際に暮らしみて実感した、まちの魅力や生活について伺いました。



最高の子育て環境を Uターン移住で実感



札幌市在住 新岡 唯 さん

◎職業／自営業
◎世帯構成／夫、本人、子1人
◎前居住地／千葉県



は札幌へUターンし、夫はUターン移住をするようになりました。

札幌に移住をしてみても、すごく良いなと実感したのは、山・川・海、広い原っぱなどの自然と大きな街が30分以内にあることです。はっぱを探して遊んだり、魚を探して遊ぶことができたりと自然を満喫した遊びをしながら、大好きな鉄道のおもちゃをすぐに買いに行けたり、大きなバスターミナルで乗り物を見られたりと、子育てにとって最高の環境に移住してきてよかったです。



移住のきっかけは、保育園が首都圏では入れなかったことでした。仕事を続けることや、キャリアの継続を考えていた私は、「子どもを保育園に預けて働き続けたい。」という風に思っていました。でも、子どもが0歳当時、首都圏では認可無認可含めても預けられる保育園がありませんでした。そこで、預けられる場所を全国まで広げ、その結果見つかったのが札幌の保育園でした。祖父母も北海道に居ることを理由に私

田舎暮らしと都会 贅沢な環境で夢を実現



江別市在住 柏村 章夫 さん

◎職業／農家
◎世帯構成／本人、妻、子2人
◎前居住地／広島県



私が移住を決意したのは北海道で農業がしたいという夢の実現のためでした。その中で江別市を選んだきっかけは、学生時代に江別市に住み、とても良い環境であることを知っていたことと、農業をするパートナーが江別にいたことが決めてでした。

移住してからは、市の4割が農地と言う江別の大自然に恵まれ、それでいて札幌まで電車で20分という立地にとっても満足しています。



田舎暮らしと都会の両方を満たしてくれる贅沢な環境です。私は農業ができれば良いと考えて



いましたが、妻の就職先も札幌で見つけることができた家族のやりたいことも同時に叶えることができました。また、冬の雪の多さには驚きましたが、駐車場の除雪の方法など、近所の方々に親切に教えていただき、大変助かりました。江別市には札幌から家を建てるために移住した方も多く、移住者に対して受け入れられる土壌ができていくように思います。

休日には家族で市内の散策をして楽しんでいます。農家さんが多くいる江別らしく、野菜直売所が充実しており、美味しいビストロやコーヒーショップなど地域に根差した魅力的なお店が多くあり、住めば住むほど楽しみが増えていきます。

私たち夫婦にとって江別市は、移住先ですが、故郷のようになつくと暮らし始めていきたく居住地になりました。

東京への移動が 便利な「とかいなか」



千歳市在住 絹川 直美 さん

◎職業／自営業
◎世帯構成／夫、本人、猫1匹
◎前居住地／東京都



私が移住したきっかけは、コロナ禍において、リモートで仕事ができることが増え、もう少し、自然の多い街に住んでみたかったからです。

その中でも千歳を選んだのは、空港があったことが大きいです。東京からの距離はあり遠いはずなのに、とても近い街である千歳。まさに「とかいなか」だったのに惹かれました。

札幌だと空港と距離があるため、移動に時間がかかりますが、千歳は東京への移動が本心に便利です。そして千歳市は、想像以上に自衛隊の街でした。

普段の生活では、魚や野菜が安くてとても美味しいです。千歳は若い世代の多い街で、子どももとても多く、高度経済成長期の日本のように、まるでタイムスリップしたかのような気がします。そしてなんと、とても自然が多く残っているの、夕陽や星空がと



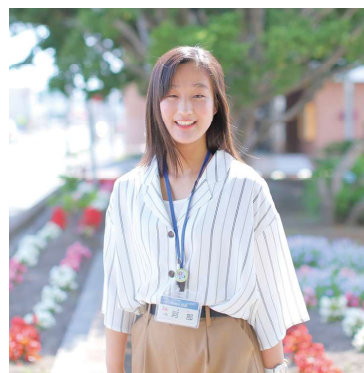
ても美しいです。あちらこちらに温泉もあり、日帰りできくつと源泉かけ流しに入れるなんて、とても贅沢です。

いきなり自然が厳しすぎるどころへ行くの不便を感じたり、後悔してしまいかもしれません。千歳市は「とかいなか」で自然とある程度の便利さの両方を兼ね添えているので大変住みやすいと思います。



支笏湖

想像以上に 過ごしやすい環境



恵庭市在住 阿部 梨子 さん

◎職業／公務員
◎世帯構成／本人
◎前居住地／兵庫県神戸市



私は2021年の春に兵庫県神戸市から移住しました。両親が札幌で生まれ育ち、私も生後8ヶ月までは札幌で暮らしていました。父が神戸消防の試験を受け、合格したのできつかけに家族で引っ越しをしました。そこからはずっと神戸市で暮らしているため、生粋の関西人ですが、日頃両親から北海道の魅力を聞いていたため、いつか北海道で働きたいと思い始めました。

広い北海道の中でも恵庭市を選んだ理由は、兵庫県に住んでいる家族や友達遊びに来やすいよう、空港の近くでかつ札幌や市街地への利便性もよい恵庭市を選びました。実際に恵庭市に暮らしてみると、想像以上に過ごしやすく、驚きました。車の免許を持つておらず自転車・バスだけの生活ですが、現在まで困ることはありませんでした。



現在は恵庭市役所生活環境部市民生活課に所属しており、エコバス・駐車場・駐輪場・空き家などに関わる業務を担当しています。入庁してから8か月(2021年12月現在)大変なこと多いですが、優しい上司、先輩方に囲まれ、働きやすい環境で仕事をさせていただき、恵庭市を選んでよかったと改めて思います。



「ボールパーク」と 街の進化が楽しみ



北広島市在住 池田 和也 さん

◎職業／会社員
◎世帯構成／本人、妻、子2人
◎前居住地／札幌市



以前は東京に住んでいましたが、妻の希望により出身地により近い札幌へまずは移住しました。その後、子どもも生まれ、当時の部屋が手狭になった為、住宅の購入を決めました。

北広島市を選んだのは、やはり日本ハムファイターズの本拠地移転の影響が大きいです。「世界がまた見ぬボー



ルパークをつくる」というキャッチフレーズに胸躍り、北広島市を調べてみると、移住や住宅購入に関する様々な助成金・補助金があると知り(現在は一部終了しているものもあります)、北広島市の「街に人を呼び込みたい」という本気度(将来性を感じました。勤務先の札幌には、JRを利用し通勤は問題ありません。子育ての面では公園や自然も多く、子育て支援センター「あいあい」をはじめとする、子育て支援も充実していますので安心して生活できています。



現在はサラリーマンとして生活する傍ら、ボールパーク推進期成会プロジェクトチームでイベントの企画を行ったり、「きたひろ・TV」というYouTubeチャンネルの運営にも携わっており、充実した「きたひろライフ」を過ごしています。

今後ボールパークを中心に、どのように街が進化していくのかを家族と共に見届けるのが楽しみです。

移住は 人生の冒険のよう



長沼町在住 中村 直弘 さん

◎職業／大工
◎世帯構成／本人、妻、子1人、犬1匹
◎前居住地／東京都



私は北海道の岩見沢市出身です。若い頃は都市部への憧れがあり、大学で札幌へ就職で東京へ行きました。東京では、IT企業へ就職し、システム構築の仕事をしていました。

都会への憧れで上京したものの、実際は、休みの日にはキャンプばかり行くようになり、「そもそも都会よりも田舎のほうが自分にはあっているのではないか」と考えるようになりました。転職のことなど色々なことが重なり、Uターンを決意。

当初は、札幌でIT関連の仕事をしようにと考えていたため、Google mapの衛星地図で札幌から近い緑なエリアを探して、長沼町に移住を決めました。雪が少ないという話を聞いたのも、決



める上で重要なポイントでした。移住してから3年ほどは札幌でSEをしておりましたが、30歳になるタイミングで、思い切って大工へ転職しました。その後、専門学校、工務店の経験を積んでから、独立しました。

2021年からは、大工仲間のオーストラリア人のカールさんとミートパイのお店「PIEME」も始めました。移住する前は、大工になることも、お店をやることも全く考えていなかったのですが、改めて考えるととても不思議です。移住は、人生の冒険のようです(笑)

長沼町は、近年、移住者が増えており、気の合う仲間がたくさんいて過ごしやすいですよ！